

危険！ その捨て方大丈夫？



ここでは、火災や爆発事故につながる可能性があるため、「もやせないごみ」の袋（黄色の袋）に入れてはいけないごみについて、正しい捨て方を紹介します。うっかり間違えてしまわないように、あらためて一緒に確認していきましょう。

ごみ分別アプリ
さんあーるでも
チェック！



iOS



Android

捨て方がわからないときは
住民環境課または清掃センターへご連絡ください
☎住民環境課 ☎ 56 - 8008
☎清掃センター ☎ 22 - 5355

充電式小型家電

電動ひげそり



電子たばこ



電動歯ブラシ



ほかにもゲーム機やBluetoothスピーカー、デジタルカメラ、モバイルバッテリーなど



電池を
入れたまま
もやせない
ごみへ



電池を外して
もやせないごみへ
外した電池は
電池回収ボックスへ

電池・バッテリーを外せないものは「清掃センター」や「エコガレージ」、住民環境課へ直接お持ちください



清掃センターや
エコガレージ、
住民環境課へ
直接持ち込む



そのまま
もやせない
ごみへ

捨てるときは個人情報などのデータは削除しましょう

パソコン・
スマートフォン



町と連携！
パソコン無料
回収あります

スプレー缶・ カセットボンベ



カセットボンベ以外にも整髪料や制汗スプレー、殺虫剤なども該当



穴を開けず
もやせない
ごみへ



必ず穴を開けて
ガスを抜ききってから
もやせないごみへ

自分で穴を開けるのが難しい場合は「もやせないごみ」の袋に入れて「住民環境課」へ直接お持ちください

ごみ袋の中にスプレー缶などが入っているときは、穴が開いているか必ず確認するようにしています。

最近は、スプレー缶に穴を開けることが浸透してきていると感じますが、スプレー缶やガラスなどの危険なものがごみ袋に入っているときは、フェルトペンなどで袋に大きく書いてもらえると収集するときに一目でわかるので助かります。

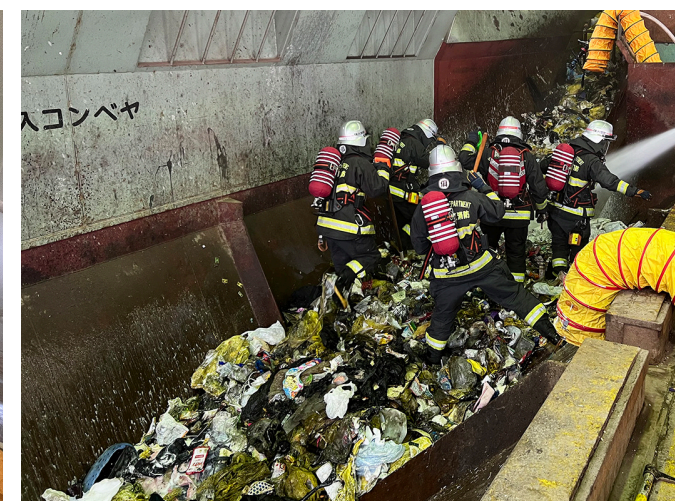
作業員の声

ごみ収集作業員



喜多 勝彦さん

過去の収集作業中に
発生した火災事故の様子



特集

倶知安町清掃センターで火災事故が発生

そのごみが危険につながる！

倶知安町清掃センターで6月14日(金)、もやせないごみの破碎作業中に、受け入れたごみを投入する場所の近くから煙が上がっているのを作業員が確認。即作業を停止して初期消火を行ったものの、自力での消火ができず、消防車12台が出勤する火災事故が発生しました。

今回の事故では、幸いにしてけが人はおらず、施設の損傷や機械の故障なども見受けられなかったため、翌15日(土)から、ごみの受け入れを再開することができましたが、一歩間違えると大事故につながる可能性もありました。

また、今回のような消防車が出勤する事故にまでは至らないものの、火災や煙が発生する事故は、近年増加傾向にあります。作業員の安全や私たちの生活を守るためにも、住民の皆さんには、正しいごみの分別について、これまで以上にご理解とご協力をお願いします。

ごみ処理の作業中に
火災事故が発生

増加する
発煙事故

ごみ収集・処理作業中の
発煙事故発生数
(清掃センター・収集車)

R5 13件
R6 7件 (6月末時点)

リチウムイオン電池
などの「電池類」や
穴の開いていない
「カセットボンベ」



火災の
原因に
なるもの

「電池類」などを誤って「もやせないごみ」の袋に入れてしまうと、ごみ収集や処理作業中に圧縮され、発火や爆発の原因になるので注意が必要です。

日頃から事故が起こらないように十分注意し、監視員を置くなどして危険物は取り除くように作業にあたっていますが、すべての危険物を手作業で取り除くのは難しいです。一つのごみが事故につながる可能性があるため、住民の皆さんには、ごみの適正処理や作業員の安全・安心を守るためにも、あらためて分別のご協力をお願いします。

作業員の声

倶知安町清掃センター
業務管理責任者 阿部 ひろつぐさん

